

## 第27回 人生を変える仕事をしよう

## 今回のゲスト

0

サンマーク出版TB編集部の編集長  
鈴木七沖さんの  
仕事の楽しさは？

Think Big! 大きく考えろ。バカであれ。

出版社が映像作品を作った理由は？

会社員であることを気にしすぎない。

### きつくなったフレームは捨てる

今回のゲストは、サンマーク出版TB編集部編集長の鈴木七沖さん。直属の上司の出演に少々緊張気味?の助手です。サンマーク出版に勤めて14年。あつという間だったというその歴史を振り返るとともに、新しい情報発信の形を生み出すエネルギーの源を語っていただきました。

さっそく美崎研究員より「TB編集部の“TB”って何ですか？」という質問が投げられました。

「よく聞かれるんですが、Think Big。つまり、“大きく考える”ということなんです。それと、“とてつもない、バカ”を両方かけてます(笑)」TB編集部は、Podcastなどの音声コンテンツをはじめ、イベントの企画・運営など、書籍の枠にとどまらないコンテンツ作りをしている部署です。最近では映画も手がけました。「とにかく何か楽しいことをやってみようという部署です」。

「映画を作りたいわけじゃないんです」という鈴木さん。監督を務めたドキュメンタリー「SWITCH」ができた背景には、編集者の経験の中で「場」の力を意識するようになったことがあります。「ある価値観が世の中で大切にされると、必ずその真逆の価値観が台頭してくるという実感があったんです。今までは個人が大事にされてきましたが、その一方で、人がつながる、何かを一緒にやるということも大事になってくると思ったんです。そこで、人が集まる場を作るにはどうしたらいいかと考えて思いついたのが、自主上映で広がっていく映像作品でした」。「SWITCH」は現在、全国で公開中。今年1年で上映回数は100回を超え、動員数は10000人以上になりました。

全く違う業界から出版に飛び込んだ鈴木さんには、ある人から言われた忘れられない言葉があります。「編集者という仕事は、仕事が生徒の変容を迫ってくる」。著者との出会い、読者の声自分がいつも変えてきたと鈴木さんは言います。今までいた枠を狭く感じたときが「新しい挑戦」のタイミング。会社員だと思つと自分でストップをかけてしまう。だからそれをあまり気にしないようにしているという鈴木さん。来年のいつそうのご活躍に期待です!



鈴木七沖(すずき・なおき)さん

服のボタンナーから映像会社、広告代理店、クラブのマネージャー、産業廃棄物回収業、町工場の作業員を経て出版業界へ。手弁当で作っていた、たった1枚のフリーペーパーから人生が変わりました。現在、書籍の編集&イベントのプロデュースを通して、人生に必要なワクワクすること、ドキドキすることを楽しく「志事」として追求しています。これまでに手がけた本など、詳しいプロフィールは、ぜひこちらをご覧ください。

facebook → <http://facebook.com/nanatsukaze>

### 鈴木編集長がプロデュース! サンマーク出版のPodcastの人気番組

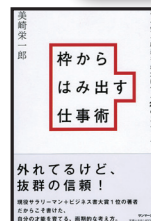
- 「中村文昭のみるみる元気がわいてくる！」

<http://www.sunmark.co.jp/podcast/fumiaki/>

- 「清水克衛のN・W・B」

<http://www.sunmark.co.jp/podcast/dokusyonosusume/>

鈴木編集長は笑顔が素敵な人で、『枠からはみ出す仕事術』では、原稿にもアドバイスをいただいています。Podcastでも興味深い話題をありがとうございます。



### リスナーへお知らせ!

仕事の楽しさを追求した1冊!

『枠からはみ出す仕事術』発売中

こちらをクリック! → <http://amzn.to/dShb3I>

この番組へのご感想や、こんなゲストを呼んでほしい! などのご要望を随時募集しています。こちらにご連絡ください。  
[a16.misaki@gmail.com](mailto:a16.misaki@gmail.com)

今回のゲストは・・・  
東京ガスのCMなど  
声のお仕事で活躍中の  
渡辺克己さんです。